

ワンデーセミナー開催記録

セミナータイトル	シリーズ 42 「AHP とコンジョイント分析」		
開催日時	平成 17 年 12 月 20 日 (月)	13 : 00 ~ 18 : 00	: ~ :
開催場所	土木学会会議室		
実施組織 (研究小委員会名など)	土木学会 (担当 : 土木計画学研究委員会)		
参加者数	総参加者数 75 名		
	内訳 : ・大学関係者 (10 名) ・行政関係者 (15 名) ・実務者 (コンサルタント等) (25 名)	・マスコミ (0 名) ・学生 (20 名) ・その他 (5 名)	
概要	近年、公共事業の意思決定プロセスの不透明さと経済不況が相俟って、公共事業に対する正当性の評価とその情報公開が社会的に強く求められている。したがって、公共事業によってもたらされる様々な効果を科学的に分析・評価する手法とともに、その優先順位を客観的に評価・意思決定する手法が必要になると思われる。本セミナーでは、AHP とコンジョイント分析を取り上げ、基礎理論から適用方法までを講義する。本セミナーのプログラムは以下の通りである。 13:00-13:30 (開会挨拶) 公共事業評価における新しいパラダイム 木下栄蔵 (名城大学) 13:30-14:00 公共事業の決め方と公共受容 藤井 聡 (東京工業大学) 14:00-14:30 AHP の理論と解釈 八巻直一 (静岡大学) 14:30-14:40 休 憩 14:40-15:10 AHP による交通手段分担率の推定 高野伸栄 (北海道大学) 15:10-15:40 ANP と比較構造分析法 中西昌武 (名古屋経済大学) 15:40-16:10 コンジョイント分析の理論と課題 上田 徹 (成蹊大学) 16:10-16:20 休 憩 16:20-16:50 コンジョイント分析によるビオトープの環境経済評価 那須 守 (清水建設) 16:50-17:20 CVM 調査とコンジョイント分析 大野栄治 (名城大学) 17:20-17:30 ソフトによる AHP とコンジョイント分析 高橋 信 (エスミ) 17:30-18:00 質疑応答 (総括) 木下栄蔵 (名城大学)		
総括	本セミナーでは、これに併せて刊行されたテキスト『AHP とコンジョイント分析』(現代数学社, 2004)を使用した。参加者の多くは、AHP またはコンジョイント分析の適用経験を持ち、質疑応答において事業評価への適用時に発生した技術的問題を投げかけてきた。例えば、AHP における重要性尺度の設定方法、コンジョイント分析におけるプロファイルの設定方法、他の評価手法 (CVM など) との棲み分けなどが取り上げられた。その際、実務者の質問には研究レベルで未解決の課題も多く含まれており、実務者と研究者との連携の必要性が再認識された。		